

20 東京都特別支援学校PTA連合会

行動計画(チャンス&サポートプラン2012)記載の内容	27年度取組実績
1. あらゆる分野への参画の促進	
(2) 社会・地域活動への参画促進	
<p>保護者が、男女を問わずPTA活動に参加しやすい環境の整備</p> <p>(1)PTA役員等の参加について、男性の積極的な参加をより一層促します。 (2)会議時間の設定等を工夫し、柔軟な活動体制を検討します。 (3)活動内容等の意思決定について、男女それぞれの意見が互いに尊重されるよう工夫します。 ☆(4) 男性保護者の会(おやじの会等)による行事等の開催を各学校単位で実施します。</p>	<p>男女を問わず保護者が、PTA活動に参加しやすい環境の整備</p> <p>(1)PTA役員等の参加について、男性の積極的な参加をより一層促しました。 (2)会議時間を土曜日にするなど設定等を工夫しました。 (3)活動内容等の意思決定について、男女それぞれの意見が互いに尊重されるよう工夫しました。 (4)障害や病気のある子供たちへの対応など、各家庭における父親の役割・悩みなどを共有できるように工夫しました。 (5)学校の各行事の日程作成の段階から、PTA担当教員の協力を得ながら、なるべく父親が学校行事に参加できるように、週末に行事を多く設けました。その結果例年にも増して行事に対する父親の参加率が上がり、行事の充実と内容の多様化が図られました。</p>
5. 男女平等参画を推進する社会づくり	
(1) 教育・学習の充実	
<p>(1)障害があっても子供たちがひとりの人間として尊ばれ、人権意識や男女平等感覚を学校の様々な場で育てられるよう、PTA活動や卒業後のアフターケア等での機会を捉え、取り組んでいきます。 (2)障害があっても子供たちがひとりの人間として地域に受け入れられ、人権・男女平等の理念のもとに尊ばれるよう、団体として様々な機会に発言していきます。</p>	<p>1)障害があっても子供たちがひとりの人間として尊ばれ、人権意識や男女平等感覚を学校の様々な場で育てられるよう、卒業後のアフターケアについて父親母親交えて考える勉強会や旅行を実施しました。 (2)障害があっても子供たちがひとりの人間として地域に受け入れられ、人権・男女平等の理念のもとに尊ばれるよう、団体として全国大会等様々な機会に発言しました。 (3)引き続き学校でも、各授業の時間を通じて、男女平等の考えを伝えるとともに、進路学習と連携させて、就職後の男女平等についても考えさせていきます。先生方の意識改革がさらに進むよう保護者PTAとも積極的に関わってきました。</p>